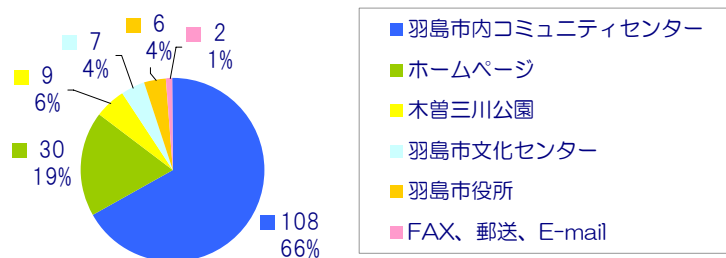
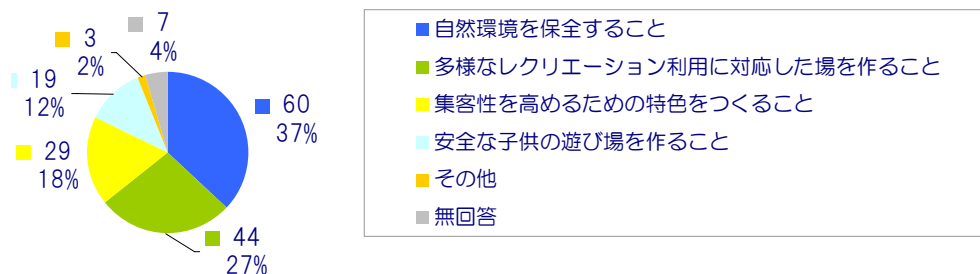


国営木曽三川公園羽島地区 「水辺ふれあいゾーン基本設計」(案)の意見募集の結果について

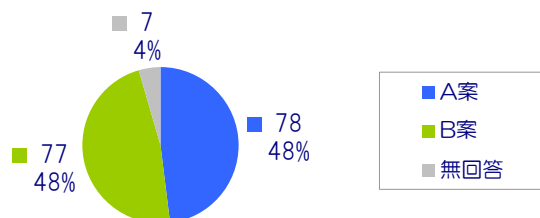
回収状況 (計162通)



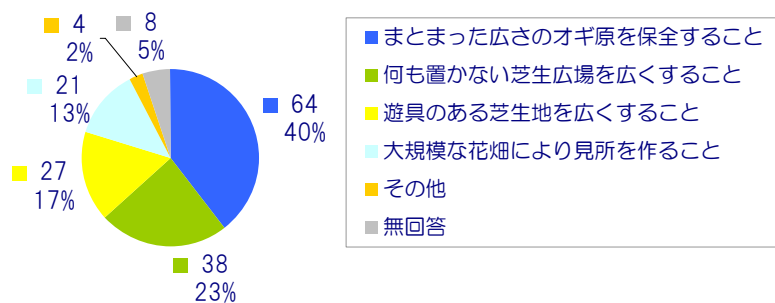
問1 高水敷の利用計画では、どんなことを重視するのがよいと思いますか。



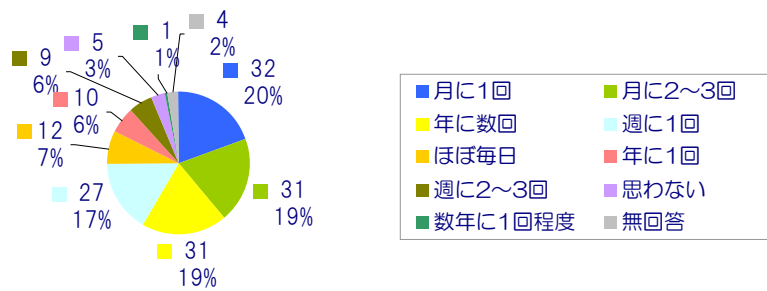
問2 A案とB案どちらがよいと感じられますか。



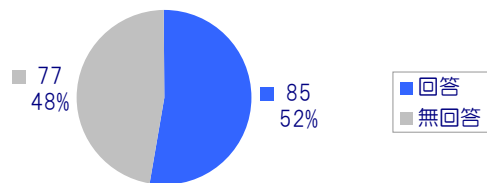
問3 選んだ案のよいと感じた点はどこですか。



問4 この公園へ行ってみたいと思いますか。また、その場合、どのぐらいの頻度で利用したいですか。

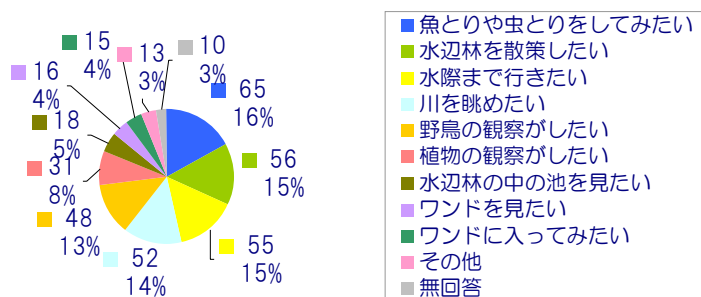


問5 プランに対する意見を自由にお書き下さい。



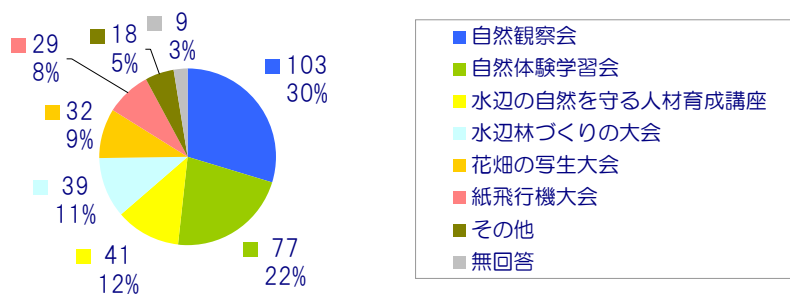
問6 ここでどんなことをしてみたいですか。(3つまで選択)

計379通

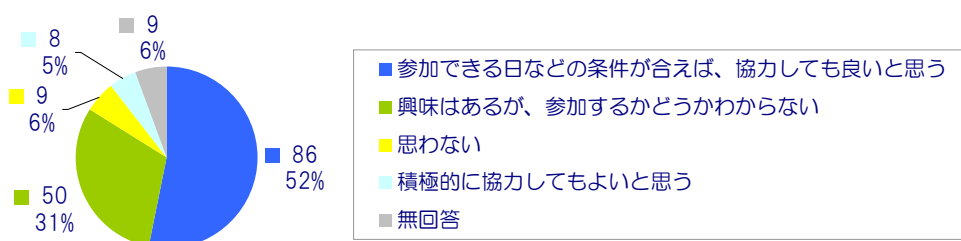


問7 この公園でどんな催し物(イベント)に参加してみたいと思いますか。(3つまで選択)

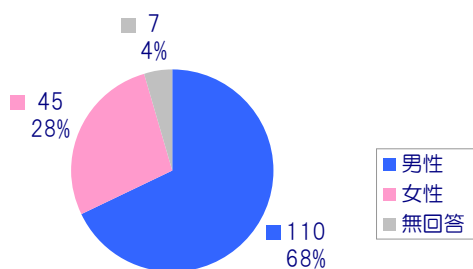
計348通



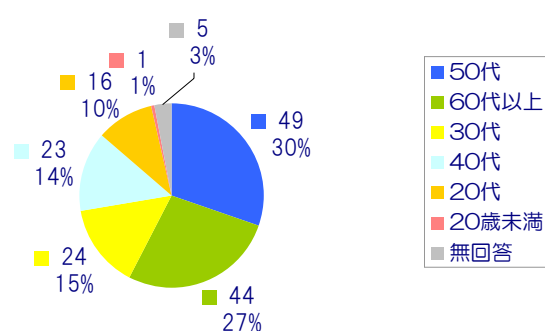
問8 草花の植え替えや林の手入れなど、公園の花や緑の維持管理をボランティアで協力してもよいと思いますか。



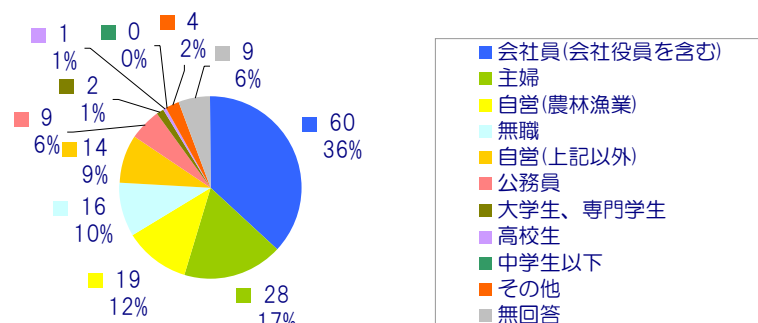
性別



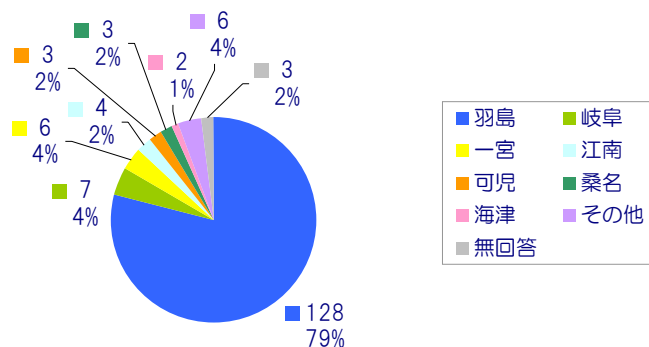
年齢



職業



居住地



■ 計画決定案の検討経緯

【意見募集で提示した複数案】

A 案：オギ原を保全することを重視する案

B 案：遊びや軽スポーツなどレクリエーション利用に対応することを重視する案

【意見募集による複数案の選択結果】

A 案を選択した方が 78 名、B 案を選択した方が 77 名とほぼ同数である。

【計画決定案作成に向けた考え方】

○ 選択した案について意見を分析し、計画決定案に取り入れる。

○ 意見募集で寄せられたご意見について水辺ふれあいゾーンの役割、河川法への適合性、安全性、自然環境への影響、コスト等の観点から検討し、妥当性のあるものについては計画決定案の作成に向けて検討する。

【複数案の選択結果の分析】

○ A 案で良いと感じている点

「オギ原を保全に関すること」が最も多く、次に「何も置かない芝生広場を広くすること」となっている。

○ B 案で良いと感じている点

「何も置かない芝生広場を広くすること」が最も多く、その次に「遊具のある芝生地を広くすること」となっている。

【ご意見を参考に検討する内容】

- ・ 高水敷のオギ原は、レクリエーション利用の場との間に緩衝帯を設けてまとまりのある面積を残しながら、低水敷の保全水辺林エリアと一体的な生物の生息空間を確保する。
- ・ 多様なレクリエーション利用に対応する多目的芝生広場と遊具のある芝生地を広く確保する検討を行う。
- ・ 河川法の条件の範囲で、日陰をつくる樹木の配置を検討する。

【計画決定案の方針】

- ・ オギ原保全エリアは、多様な生物の生息空間となるように、まとまりのある面積として 2ha 以上オギ原を保全するとともに、レクリエーション利用の場との間に緩衝帯となる草原を配置する。
- ・ 多目的広場エリアは、多様なレクリエーション利用に対応するために広く確保する。また、配置は広場の幅が広く確保できる駐車場に隣接する下流側とする。
- ・ チビッコ広場エリアを設けて、遊具のある芝生地を広く確保する。
- ・ 河川法の条件の範囲内で日陰をつくる高木を配置する。

